

ふきた さと 吹田の郷

発行/すいた市民環境会議 代表/小田忠文 年会費/個人会員1000円、法人会員10,000円 振込先/00980-3-28845 すいた市民環境会議
事務局/〒564-0032大阪府吹田市内本町2丁目18-8 TEL & FAX 06-6319-0630 小田(午後6時以降) 編集長/古谷啓伸
ホームページ <http://www.alpha-net.ne.jp/users2/kusahiro/suika.htm>

第4回定期総会開催 会長に小田忠文さんを再選 2頁



6月11日(日)、兵庫県立人と自然の博物館を訪れた。地下水をビオトープに流しているが、一切の浄水をしないので赤いヘドロのようなものがうっすらと沈積して、見た目はきたない。しかし、生き物は気持ちよさそうだ。

..... 4頁

釈迦ヶ池東にあるメダカの田んぼ

6月18日、55~59㎡の一角にすいたクワイを移植した。ほとんど根付いた。

..... 10頁



昨年の悲劇に負けず、今年も帰ってきたツバメの感動物語 13頁

4年目のすいた市民環境会議

NPO法人取得に向かって準備開始

5月21日に第4回総会が吹田市民開館で開催され、会長に小田忠文さんが再選されました。

会長 小田 忠文 挨拶

今年もまた、会長を仰せつかりました。皆様の応援を期待しています。

すいた市民環境会議は1年目の古木大木調査から始まり、“ツバメの巣”と“ため池”の調査、“ヒメボタル”の調査など吹田市内の生き物の調査実績を積み重ねてきました。

昨年からはまちなみ委員会、生活環境委員会が活躍しています。さらに公民館講座のコーディネートも始めました。会員の皆さんのバックアップがあって、すいた市民環境会議は吹田市内の環境問題に関して大きな位置を占めてきていると自負しています。

私たちは発足当初から「市民の活動は楽しくなくてはいけない」をモットーにしています。その最たる活動が“メダカの田んぼ”です。ほぼ二週間ごとに釈迦ヶ池の東側で泥と格闘しながらも子ども時代に返ったように嬉々として水に入っています。子どもたちも裸足で田んぼの土の感覚を楽しんだり、オタマジャクシやオケラをつかまえています。

6月には田植えをし、吹田クワイ保存会から譲り受けた“スイタクワイ”を田んぼの一角に植えました。7月末には水生植物を植える予定です。

本日の総会で非営利公益活動法人（NPO法人）取得に向けて準備することが承認されました。すいた市民環境会議はこれからますます発展していくことと信じています。

委員会の傍聴自由が市民参画のスタート

阪口市長になって1年が過ぎ、このところ市報や市のホームページに「〇〇市民会議」「〇〇100人委員会」「〇〇審議会」など市民の行政への参画を求める求人募集が目につきます。これらは市長選挙の時の公約にあった市民参画を急速に押し進めようとしている現れなのでしょう。

しかし一方、審議会や議会の委員会などの傍聴者は5人までしか許されていません。これで市民参画と言えるのでしょうか。

市民参画を言うには、まず情報公開が先決です。情報が皆無だったり、偏っていたり、不十分であったりしては市民は行政に参画のしようがありません。情報公開は傍聴自由が基礎であり原則です。

行政パーソンは「市民は苦情製造器」と思っている節があります。

市民にも「税金を払っているのだから行政はすべてをしてあたりまえ」の感覚があったことも否めませんが、情報公開も市民の参加も認めようとしなかった行政のあり方にも原因があったように思われます。

さらに、間違っていたら謝りますが、議員さんたちの中には情報公開や市民参画が進むと議員の特権が侵されると思っている（思っていた）人もいるように思われます。

21世紀には“文句を言う市民”から公開された情報をもとに“提案・対案を出せる市民”になっていかななくてはならないでしょう。

2000年度の体制

会長 小田忠文
副会長 橋本徹也、高島耕一郎
会計 喜田久美子、熱田克子
会計監査 土志田新八、邑本恵子
幹事 16号6頁に掲載した候補どおり



小田忠文会長

専門委員会 (◎委員長、○副委員長)

《事務局会議》 ◎中村、○小田信、田中、秋山、平、菅原、小室

《「学習・研修」委員会》 ◎高島、○秋山、菅原、石原、小室、佐藤、草野

《生き物調査委員会》 ◎平、○小田信、小室、加藤、土志田

《まちなみ委員会》 ◎松岡、○古谷、小田忠、小田信、岡村、広村、浅田、彦坂、山岸、木村、山本、田中、熱田、秋山、池淵、寺尾

《生活環境委員会》 ◎喜田、西川、大澤、中埜、竹内、西村、小田信、小田忠

《釈迦ヶ池東ビオトープ委員会》 ◎西野、○小田忠、小室、小田信、塩田、栗本、高島、古谷

《大木委員会》 ◎秋山、○浅田、小田忠、中村、加藤、松岡

《会報委員会》 ◎古谷、○西尾、田中、草野、佐藤、伊藤、秋山、木田、岩溪

“市民環境文化部”の想いで、活動に期待

総会に阪口善雄市長も出席し、つぎのような挨拶がありました。

すいた市民環境会議の皆さま方には日ごろから環境・文化行政など市政の各般にわたりましてご支援ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

すいた市民環境会議が発足して私も会員に名を連ねさせていただいておりますが、資料を拝見するとこの間の活動には目を見はるものがあります。

4月に市は機構改革をおこない、新たに文化のまちづくり室を設けました。「みち」を歩いたり、神崎川の対岸から吹田を眺めるなど、古い街道の歴史にまで目を向けて環境問題を考えておられる市民環境会議は、まさに役所の外にある“市民環境文化部”であると思います。皆さま方に機構を大いに活用していただき、真の意味での協働・協育を皆さまと実践していきたいと思っております。

行政は大きなタンカーと同じで急にはハンドルが切れません。時間がかかります。市民の団体である皆さまのご協力で、なかなか変わらない市役所を変えていただきたいと思います。今後のすいた市民環境会議の活動に期待しています。

6月11日、ビオトープ見学のバス旅行がおこなわれ、40名が参加しました。

小雨降る中、市役所に集合し、一路目指すは三田市周辺のビオトープ。バスの中で自己紹介を終えた後、三田に着いた頃には我らの熱意が通じたのか雨も上がり、すっかり見学日和でした。

報告者 土生陽子（桃山台）

公立のビオトープ 地下水の赤茶けた流れ

まずは兵庫県立人と自然の博物館です。学芸員である戸田先生がビオトープの成り立ちから諸外国の例まで説明して下さいました。講義の後、けんらん豪華なお弁当を食べ、いよいよ外に出て現地見学です。

ビオトープは日本庭園のようにつくられたものを改善したものです。湧水により自然な流れが維持されているのですが、この流れが赤茶色に染まっているのです。鉄分が多く含まれているため、空気中の酸素と反応してこんな錆びた色になるのだそうです。自然なものですが、説明を聞かないと何か変なものが混ざっているのではないかと感じてしまいます。鉄分を除去する方法もあるそうですが、自然なまま放置するべ

きか、一般的に『きれい』な流れにするべきか、難しい問題だと思いました。見かけは赤茶色のどろどろした水ですが、その中にもヤゴが数種見られ、人の目には不快に見える水でも、他の生き物にとっては棲みよい環境なのかもしれないと思いました。公園として利用されている以上は人の目も重要ですが、人の『物差し』だけで物事を測るのは浅慮なことだと感じました。

ちなみにここの博物館は展示も実におもしろいのです。シンポジウム等で何度か来たことはあるのですが、時間が無くていつもじっくり見れずじまいになってしまうのです。残念、今度はぜひ展示も見にこなくてはっ！！

小学校のビオトープ 環境教育に重点

続いて神戸市立鹿の子台小学校です。全国モデルとなっている学校ビオトープと言われるだけあって、敷地は広く池から畑、田んぼ等、様々な環境が揃っていました。ここを創られた先生が転勤され、3度目の説明になるという下村先生が説明して下さいました。

『学校ビオトープ』はいわゆるビオトープとは少し違い、環境教育の場、子供たちが自分たちでいきものとのふれあいの場を

創ることが重要視されます。ここでは震災後の地域コミュニティとして周囲の協力が得られたことも成功の大きな要素となったそうです。子供たちのアンケートでもいきものとのふれあいの場が求められており、反応は好評だそうです。ただ、小さい子は浅い水でも溺れるかもしれないという水辺に対する危険、資金・資材の調達、つくる時間の確保など、難しい問題はあるということでした。

企業のビオトープ 庭園指向

そして、ラストはキリンビール神戸工場です。きょうの旅行はこのビールが本命という噂も（笑）。

企業がつくったビオトープだけあって先の2つとはまた違った趣きがありました。流れにはメダカが泳ぎ、池には花菖蒲が植栽され、ヤゴの抜け殻（ギンヤンマ？）が多数見られました。しかし、ここでちょっと気になったことが数点ありました。それは、①せっかく流れに石を敷いているのに、その石がコンクリートで固められていること（これでは多孔質になりません）。②流れから池の間が段差になっていること（一度池に降りたメダカは流れに上がれないの

では……）。③流れに植物が少なく、メダカの休息、繁殖場所となるような溜まりが少ないことです。

全体的にイメージは『ビオトープ』というより『庭園』でした。ビールの試飲会場から見下ろすコンセプトといい、見世物的で少し気になりました。

三田市は、ここ数年人口増加率日本一を誇る程、急速に開発が進んでいるところです。三田市周辺の3つのビオトープ。それぞれタイプは違いますが、自然とのふれあいを求めていることは共通していると感じました。大変有意義な濃い1日でした。

参加者の感想 ビオトープは行政への市民参加を推進する

櫻井 稀衣（箕面市、櫻井あかねさんのお母さん）

まさに「百聞は一見にしかず」でした。私のビオトープに対する知識はグッと広がりました。私のビオトープのイメージは学校ビオトープであり、市街地の環境の悪化を防いで、ついでに子供に生き物に触れてもらうというものでした。

ビオトープの基本は本来ある自然を保全し、復元してゆくことでした。エコアップ（10頁参照）という視点にも初めて触れました。保全や保護という言葉は守りの姿勢を感じますが、エコアップという視点が加わると積極的な姿勢に思えて、可能性を感じました。生き物と共有する空間がいっぱいあるまちづくり、そんなまちに住みたいと思います。

3箇所のビオトープを見学して得たキーワードは「市民参加」。今、社会的に行政、企業、市民のパートナーシップがあらゆる分野で求められており、ビオトープはそれを具体的に実現するにはとても適した活動だと思います。反対や要求をするのみでなく、提案型の行動的な市民をつくり出してゆくことに適していると思います。

《ビオトープへの案内》

兵庫県立人と自然の博物館

0795-59-2001 三田市弥生が丘6
開館 10~17 定休日 月曜日
神戸電鉄フラワータウン駅から
徒歩5分

神戸市立鹿の子台小学校

一般に非公開

キリンビール(株)神戸工場

078-986-8000 神戸市北区赤松台2丁目1-1
工場内のビオトープ見学日は事前に照会する。
8月は13日（日）と20日（日）で15時から30分間
9月以降の見学日は未定
見学のとき、希望者はビールの試飲ができる
JR三田駅から専用の送迎バス

樹木・緑の効用

秋山こずえ（清水）

先日、NHKが『日本一の巨木を探せ』というタイトルで、屋久島の縄文スギより幹周りが大きいスギが見つかったらしいことを伝えていた。

巨木ブームの影響で、環境庁の大木記録が次々塗り替えられている。

吹田市にも幹周り200cm以上の大木が420本記録されているが、道路計画上にあったり、すでに伐採された話を聞くと、保全ができないものかと考えてしまう。

岸田前市長が『市報すいた』に“木は街の記憶である…”と以前書かれていましたが、まさに大木調査は“人と木との関わり”を知る調査でもありました。今、私にとって“木”はライフワークの1つであり、木の効用を知れば知る程、無闇には切れないなあと思っています。

木陰の涼しさ（気象緩和）

樹木が枝葉を広げている状態は、幹が占める面積に比べ、数倍の面積に達し、その分活動面が大きく働くので、日射や熱をよく吸収し、気温やその影響を受ける地温について、変化の小さい穏やかな気象となる。

夏季の日射をさえぎり、風通しの良い涼しい快適な環境を作る木陰の効用は、もう少し重視されるべきではないだろうか。（例えば常温32度のとき、木陰32度、芝生40～45度、アスファルト50～60度といわれる）

木は二酸化炭素の貯蔵庫（大気浄化）

地球温暖化という言葉聞いて久しい。19世紀末290ppm（0.03%）であった大気中の二酸化炭素濃度が、現在350ppm（0.04）に達し、このままの増加が続けば21世紀前半には600ppmのオーダーに達するという。温度にして1～3度上昇する。それに伴い地球は温暖化し、極地の氷が溶け海水面が上昇、気象変動が起こるといわれる。その原因は、誰もが思い当たるのが石油・石炭などの化石燃料の燃焼である。しかし、もう1つ森林減少が案外知られていない。

木は成長（光合成）に炭素を必要とする。“木は二酸化炭素の貯蔵庫”といわれる由縁である。奈良・法隆寺は世界遺産に登録された木造（ヒノキ）建築であるが、1400年間二酸化炭素をその内に貯え、今日に到っている。

木は二酸化炭素が増えれば一生懸命内蔵するために働く。

木は、私達が気づかない処で地球環境を担ってきた仕事師である。

岸田前市長のご冥福をお祈り申し上げます。

次回は都市林について



大木委員会からのお知らせ

1 大木に名札を取り付けます。一緒に取り付けて下さる方を募集します

取り付け作業日 11月19日(日) (詳細は次回会報誌にてお知らせ致します)

すいた市民環境会議では、3年前に吹田の古木・大木調査を実施、幹周り200cm以上の木を420本記録しました。その後、吹田市では保護樹木指定制度を発足させ樹木保存(樹木44本、樹林3カ所)をして下さっていますが、道路わきの木、駐車場の木など、いつ伐採されてもおかしくない場所の木について、名札を付けることになりました。住民の皆様が、木の名前を知ることで『愛着の持てる木』に成長していくことを願っての作業です。11月19日は会員皆様に“名札取り付け作業”をしたいと思います。是非、参加をお願いいたします。

2 『気になる木』情報コーナー開設

3年前の吹田の古木・大木調査後、「計測されてない木があるよ」などの話が伝わってきます。この度、そんな情報を一つ一つ調査をすることになりました。皆様からの情報コーナーを設けます。木にまつわる情報なら何でも結構です。

例えば；大木らしき物があるぞ。木にフクロウが住んでいるよ。同じくへびが住んでいるよ。注連縄がはってある木があるよ。木が切られるらしい…
などなど教えてください。

情報を発信して下さる時は

- ① 木の状況と所在地(住所・簡単な地図などを添付して下さいと嬉しいです)
- ② 情報発信者のお名前・住所・電話番号・FAX など

あて先 すいた市民環境会議・事務局 小田忠文方/大木委員会 宛
564-0032 吹田市内本町2丁目18-8 TEL&FAX 06-6319-0630

短信

第4回総会の反省

出席者40名、委任状85名。総会で質問が1件もなく、課題を残した。懇親会にビールがほしかったの意見あり。

吹田貨物ターミナル・基本協定書第6条の理解と運用をめぐって

す環会第29号 2000.5.29

吹田市長 阪口善雄 様

すいた市民環境会議

吹田貨物ターミナル・基本協定書についての質問

すいた市民環境会議は平成12年2月22日に「吹田貨物駅アセス実施計画書に関する要望書」を提出し、平成12年（2000年）4月6日に 11吹市広第1263号で回答を頂きました。

要望書の趣旨は「実施計画書は基本協定書第6条違反である。従って実施計画書は再提出させてください」というものでした。

しかるにその回答では「基本協定書第6条」について何ら触れられていません。そして「指摘の事項を考慮して準備書を作成するよう指導していく」と書かれています。

繰り返しますが、梅田貨物駅の吹田操車場跡地への移転計画に関する基本協定書第6条には「住民の意見を可能な限り事業計画に反映させ・・・」とあります。

しかるに、住民の意見がほとんど反映されていない吹田貨物駅アセス実施計画書を踏まえて「準備書を作成するよう指導していく」との回答を頂き、「平成11年1月に大阪府など5団体で締結された基本協定書とはいかなる位置を占めるのか」という、すいた市民環境会議の疑問は解消しません。

つきましては下記事項を質問します。

記

(1) すいた市民環境会議は「基本協定書第6条は無視されている」と考えます。

この考えに対しての市長のお考えをお聞かせください。

(2) また基本協定書第6条は何を目的に締結したのですか。

尚、議会開催中であり、ご多忙中とは存じますが6月末までにご回答くださるようお願いいたします。

市長からの回答

12吹市広相1032号

平成12年（2000年）7月3日

梅田貨物駅の吹田操車場跡地への移転計画に関する基本協定書につきましては、既にご案内のように平成11年1月20日に締結を行いました。

ご質問の基本協定第6条の内容といたしまして、「鉄道公団及びJR貨物は、この協定の締結後速やかに吹田貨物駅及び貨物専用道路等の事業計画について住民に説明するとともに、住民の意見を可能な限り事業計画に反映させ、円滑な合意形成に努めるものとする。」となっております。

基本協定締結後、第6条の前段の規定に基づき、平成11年6月～9月の間に貨物駅移転整備計画の概要の住民説明会を33回行いました。

この説明会は、市民の皆様の基本協定書の締結までの経過とその内容、また貨物駅移転整備計画の事業内容について理解を深めていただくため開催させていただいたものでございます。

今後は、現在鉄道公団から提示されております事業計画案に対し、住民説明会でのご意見及び環境影響評価で頂きました意見書や環境影響評価審査会のご意見等を勘案し、市長の意見としてとりまとめたものを事業者へ提出することとなっており、これらの意見を事業者である鉄道公団が可能な限り事業計画に反映させることとなっておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

市長からの回答を読んで

回答は「第6条の前段の規定に基づき住民説明会を33回行った。」と述べるだけで、第6条の後段の規定「住民の意見を可能な限り事業計画に反映させる」ことについては言及していません。そこを無視して『環境影響評価条例に従って準備書の段階に進む』というものです。（後段について市長は回答できていません。）

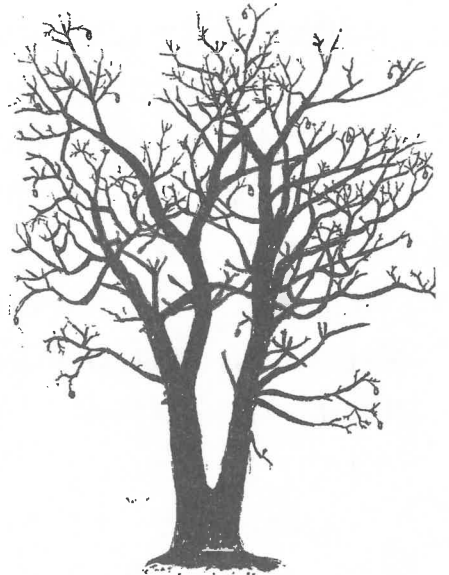
基本協定第6条に従い、実施計画書からやり直すことが公務員の責務であると考えます。



5~6月のころ、淡紫色の小さな花をつけ、秋の落葉後も数珠玉状の黄色い果実（俗にセンダン坊主という）をつける。

万葉集には山上憶良のこの木に寄せる恋歌があり（古名は櫟もうちの木）、5月の節句でショウブと共に飾れたりしたが、中世では一転して不浄の木とされ、処刑場で首を曝さらす木に使われたり、江戸期には棺桶材に用いられたりしたという。

豊津駅以南の糸田川は他の川に比べて川底に土砂が堆積し、投棄されたゴミも目立つが、河川敷は変化にとみ流れも緩急、あるいは深淺があり、生物の種類や数も多いように思える。



糸田川の両岸の堤防にセンダンが生える。広芝町側のセンダンは『すいたの古木・大木』に記載されたが、南金田町側は収録から漏れた。

樹高 13m 幹回り 2.25m
株立 2本

浅田都司男 （千里丘中）

どうしたら減らせるゴミ

生活環境委員会・報告

6月10日(土)メシアターで行われた「すいた環境教育フェア2000」で、ワークショップを開催しました。参加者は21人。

コーディネーターはリサイクルプラザ研究所主任研究員・三輪信哉先生（大阪学院大学助教授）で、目的はゴミ減量にむけて何をすべきかという具体的提案をすること。ひとりひとりの知恵を出しあって検討し、具体的提案を発表する。所要時間はたった3時間。

行政の立場から吹田市ごみ焼却施設建替え等担当理事の福井俊介さん、産業界からスーパージャスコ南千里店副店長の友田文夫さん、市民の立場からリサイクルプラザ研究所市民研究員の水川晶子さんの3人にそれぞれの取り組みの現状と課題を報告していただき、次に参加者が市民・行政・学校・スーパーの4グループに分かれ、それぞれの立場に立って考えました。

すぐにでも実現可能なものもあれば、課題の多い提案もありましたが、これらを具体的にどう実現していくか超えなければならない山が見えてきたワークショップでした。これらは模造紙にまとめられ、フェア会場に掲示されました。

なお、生活環境委員会ではワークショップの成果をもとにゴミの減量のための提案としてまとめて、市に提出する準備を進めています。

トンボやカエルがいる、昔の吹田の田んぼに遊びに来てください

14号で紹介しました「メダカの田んぼ」は作業が順調に進んでいます。6月11日に田植えをして、草抜き、水量調節をしながら、生物の観察をします。

水田に入れる服装で応援に来てください。陽射しがきついです。長靴、帽子、タオルを持参してください。

作業日はつぎのとおりです。

8月13日(日)、27日(日) 午前8時30分から約2時間

9月10日(日)、24日(日) 午前8時30分から //

10月8日(日)、22日(日) 午前9時30分から //

田んぼには会として行う移植・放流以外の一切の生き物の持ち込みを禁止しています。ミドリガメ、メダカ、コイ、ブラックバスなど放さないようにお願いします。
《釈迦ヶ池東ビオトープ委員会》



梅雨のあい間、隣の畑の通路で泥んこになって遊ぶ

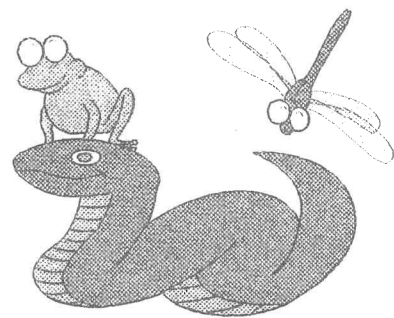
用語解説

エコ・アップ (eco-up)

都市化され、自然環境が失われた地域の生物的環境を改善していこうということをエコ・アップと言う。単に、木を植え緑をふやすといった活動だけでなく、より多くの生き物がそこに棲むための環境を整えていく活動である。エコ・アップは和製英語。

エコ・××という和製英語が乱発されている。数例をあげれば、エコ・クッキング（環境配慮をした料理方法）、エコ・ビジネス（環境への負荷を軽減した商品の販売）、……、挙句の果てはエコ・ヌード（野外の自然光の下で自然を背景に自然な裸体を撮影）までである。

エコ・アップはホームページ「自然観察と科学教育資料」（<http://www.imasy.or.jp/~saexa/eco-up/index.htm>）と、「えこえこ広辞苑」（<http://member.nifty.ne.jp/ecopun/words/menu.htm>）に説明されるが、受信側のソフトが古いと読めない。



短信

大木伐採か

市内で6番目の大木クスノキ（幹回り584cm、株立ち3本）が道路拡幅工事で伐採の計画。千里第2小学校正門前。残す作戦が功なすか。

NPO講座 4 今、行政が協働を急ぐわけは

第4回総会において、すいた市民環境会議が「非営利公益市民活動法人」の取得に向けて動くことが承認されました。

会計や事務作業が煩雑になりますが、すいた市民環境会議はこれから法人取得のための定款作成と書類をととのえる作業をはじめます。そのための作業班を作りました。

さて、5月から吹田市において、「吹田市行政との協働を考える市民会議」が開催されています。わかりにくい名前ですが要するに「行政とNPOとの協働のあり方」を討議する会です。

なぜ、NPOと行政との協働が必要なのでしょう。今の行政は市民の要求に応えきれなくなっています。市民の要求が多岐にわたってきているのに、行政機構は大きく、融通の利かないものになってきているからです。財政危機も大きな理由でしょう。そして、介護保険が導入されたことがNPOと行政との協働が急がれている理由の一つでもあります。

一方、市民は行政を頼りとせず自発的に、自分たちが必要だと考えることを市民活動としておこなうようになりました。行政に要求しているだけでなく、自分たちでできることをしようと動いています。何人かが集まって行動すると規則が必要になり、組織としての形態を取るようになります。その行動が公共の益になることであればそれはNPOとなります。行政より活動は先進的なものが多いのも事実です。NPOの臨機応変さやネットワークの軽さなどの特徴は行政に求めにくいものです。

NPOは自分たちだけで活動しているため、資

金的に苦労しています。事務所を持っているところはとても少なく、印刷やコピーなど機器類にも苦労しています。他にも苦労していることは多々あります。NPOとして活動したいと思っている人々もいます。そこで行政がNPOを支援する必要も出てきます。NPOが活動しやすくなれば行政にとってもプラスになります。NPOの活動そのものが行政を支援しているものもあります。行政とNPOは支援し、支援されることでよりよい吹田市になる可能性があります。行政とNPOの関係は対等なのです。

NPOが行政と協力し協働することで新たな方向が見えてくることがあるでしょう。そこで「行政とNPOとの協働のあり方」を考える必要がおり「吹田市行政との協働を考える市民会議」が開催されたと理解します。

箕面市では「市民参加条例」「非営利公益市民活動促進条例」が制定されています。さらに「まちづくり条例」があります。吹田市はいずれもありません。でも吹田の市民も元気です。これから行政と一緒に「行政とNPOとの協働のあり方」を考え、必要であれば条例を作りましょう。

「吹田市行政との協働を考える市民会議」を是非、傍聴してください。

今回は8月10日(木)19:00から。場所は未定です。決定次第、すいた市民環境会議のホームページに出しますので見て下さい。その後も日程、場所が決まり次第ホームページに記載します。

吹田市のホームページにも掲載するように要望しています。(文責・小田信子)

短信

ジャスコ榎南千里店 阪急南千里駅から南へ徒歩13分 が環境企画

8月29日(火) 「牛乳パックではがきを作ろう」

10:30~12:00 と 13:30~15:00の2回

すいた市民環境会議が協力します。

問い合わせはジャスコ榎南千里店へ ☎06-6337-2111

鹿児島市民環境会議発足準備会にわが体験を語る

小田忠文・会長

最近、全国各地で「〇〇市民環境会議」が発足する気配があります。今年の3月には「河内長野市民環境会議発足準備会」の人々がオブザーバーとしてすいた市民環境会議の幹事会に参加しました。

先日、鹿児島市民環境会議発足準備会から「すいた市民環境会議の発足当初の話をしてほしい」という要請がありましたので行ってきました。

鹿児島市民環境会議発足準備会は次のような経緯で誕生しました。

鹿児島市の要請で60人が「環境基本計画」
→ 策定終了で解散はもったいない
→ 環境会議発足準備会の誕生

鹿児島市が「環境基本計画」を策定するために、40の市民団体代表者に声をかけ、さらに市民20人を公募しました。そして60人で話し合いながら「環境基本計画」の素案を作りました。素案ができた段階で、集まった人たちは解散することになりました。しかし、「せっかく集まったのにこのまま解散するのはもったいない」という思いで結成されたものです。

すいた市民環境会議誕生の特色は、過去に(現在も)いろいろな市民団体で環境問題を中心になって取り組んできた人々が集まって作り上げたことです。ある種のネットワークです。普通に見られるさまざまなネットワークと違うのは、それぞれの幹事が背後に所属の団体を持ちながら、個人の資格で参加し、いろいろな団体の協力を得ながら独自の活動をしていることです。さらに「行政や企業と対立するのではなく、ともに吹田の環境のために活動しましょう」とうたっていることです。

“各種市民団体で中心になっている人々の集ま

り”、さらに“市民による自発的な集まり”という特色が方々から注目されている理由の一つでしょう。鹿児島の場合、一つの共通の目的を達成した後での結成ですので、吹田よりも強力かもしれません。

お隣の豊中市には豊中市民環境会議があります。そこでは市長が会長となっており、行政の予算で活動できます。すいた市民環境会議としてはうらやましい限りと思っていますが、会長が市長では動きにくい面があるようです。すいた市民環境会議では市長ですら一会員です。市議会議員で会員になっている人も増えています。市議会の七つの会派のうち六つの会派の人が会員になっています。

若い女性の多い^{鹿児島}準備会

と、こんな事をおしゃべりしてきました。鹿児島市の人々はとても元気です。平日の午後にもかかわらず30人が集まりました。しかも、若い女性が多く、羨望の目で見えてしまいました。また人口55万人の鹿児島市の行政が市民参画で環境基本計画素案を策定されたことや、この準備会を側面から支援していることに敬服しました。

九州沖縄サミットのため、飛行機の搭乗チェックが厳しく、到着は少し遅れましたが大阪から鹿児島まで1時間少々で行けます。桜島は雲の帽子をかぶっていましたが緑が美しく、鹿児島の人々の自慢です。海と山との間に細長くのびた鹿児島市の地形は神戸を連想させます。しかし鹿児島市の長い海岸線は神戸と同じくほとんどが埋立による人工護岸となっていて、自然の砂浜は一ヶ所だけのこと。鹿児島ですら自然環境はなくなりつつあるのです。残念なことです。鹿児島市民環境会議は年内に発足する予定です。活躍を期待しています。

短信

NPO法人化に向けて定款等の作業班

作業班の人は香月利明、高島耕一郎、小田信子、小田忠文、寺尾恵子、まだ増えそう。

帰ってきたつばめ

武田 ゆき子 (円山町)

昨年につばめ調査半ばで、悲しい結末になってしまった“つばめの巣”（会報誌・第11号に掲載）に6月、「つばめが戻って来てくれたんですよ」と電器店の奥さんが、息を弾ませ知らせてくれました。

巣は突貫工事ですが、新築の豪邸に見えます。昨年への舞にならないように、お店の皆さんがカラスから守るための、目隠しを作ってくれていました。

6月中旬、巣の下にボール紙が敷いてあります。卵があるようです。それからは、カラスがいないのを確認して、巣を見に行くのが日課になりました。

6月末、5羽のヒナがかえりました。親つばめが餌を運んでくるとピーピーと賑やかです。

7月14日、1羽もいません。巣立ってしまったのでしょうか。お店の方に伺うと、「夕方には帰ってきますよ」とのことでした。

巣立つ日ももう目前です。嬉しいような、一寸淋しいような複雑な心境です。

今世紀最後の夏に、最高のプレゼントをくれたつばめさん本当にありがとう。そして、初めから温かく見守り、ご協力頂きました市川電器店の皆様に心からお礼申し上げます。

来年も忘れずに来て欲しい…と願っています。



環境会議のホームページから

<http://www.alpha-net.ne.jp/users2/kusahiro/suika.htm>

★学習・研修委員会より《北千里公民館 市民向け環境連続講座が好評です》

身近な自然や環境を、体験を通して学ぼう！

すいた市民環境会議では一年を通して北千里公民館の講座を受け持っています。

会員の皆さんの参加をお待ちしています。お申し込みは北千里公民館(6834-2921)へ。

◆9月以降の予定です。

日時	講座内容	講師
9月6日(水) 13:30~15:30	食用廃油でハーブ石鹸作り。	菅原節子 吹田市 合成洗剤対策専門委員
10月15日(日) 13:00~15:00	バッタの運動会(雨天中止)・公園で虫取りをした後そのバッタを飛ばして遊ぼう。	小室巧 吹田自然観察会
11月16日(木) 10:00~12:00	エコクッキング・省エネルギー、節水、ゴミ減量を考えながら保温調理をする。	喜田久美子 エコアクション
12月17日(日) 13:00~15:00	エコリースづくり・リサイクル品と自然の物を利用。	熱田克子 すいた市民環境会議
1月21日(日) 10:00~12:00	蓮間池に来る水鳥と環境・池に飛来する水鳥の観察と池の環境を考える	平軍二 吹田野鳥の会
2月10日(日) 13:00~15:00	科学の目・資源と廃棄物を元素のレベルで考える	加藤俊二 大阪大学名誉教授
3月18日(土) 13:00~15:00	大木散策と年輪数え・地域の大木を観察し樹の年齢を実際に測定する	小田忠文 すいた市民環境会議



7月9日に開かれた講座「まち並ウォッチング」で町の景観と美観をワークショップする参加者。中央奥の女性は当日の講師を務めた秋山こずえさん。

公園の生き物調査参加者募集

(生き物調査委員会)

2000年度は吹田市内の公園4ヶ所の生き物調査を実施中ですが、10月度に下記調査を予定していますので、会員の皆様のご協力をお願いします。

特に昆虫関係は、お子さんの参加大歓迎です。

主な対象	集合 月/日 時刻	集合場所	調査個所	調査担当
秋の 渡り鳥	10/1 (日) 9:00	吉志部神社鳥居前	紫金山、片山	平、土志田
	10/7 (土) 9:00	北千里公園入口	北千里、中の島	加藤、平
昆虫	10/8 (日) 9:00	吉志部神社鳥居前	紫金山、片山、中の島	小室、小田
バッタ	10/15 (日) 9:00	北千里公園入口	北千里	//、//

まちなみ委員会からのお知らせ

(仮称)吹田市観光マップ「散策コース」選定のための散策 参加者募集

(仮称)吹田市観光マップは、『吹田市』より『すいた市民環境会議』が業務委託により作成することになりました。市民が吹田市をよりよく知り、楽しく散策ができる、わかりやすいものを目指しています。この8月に3コースを歩き検証することになりました。会員の皆様と一緒に歩いて下さる方を募集します。

関西大学・佐井寺コース (担当;古谷啓伸 06-6387-2139)

8月12日(土) 集合時間 a m 9:30 (解散時刻12:00)

集合場所 阪急 関西大学前駅南口改札

旧山田村コース (担当;岡村昇二 06-6871-5216)

8月13日(日) 集合時間 a m 9:30 (解散時刻12:00)

集合場所 阪急 山田駅改札

旧吹田村コース (担当;田中一子 06-6383-5020)

8月26日(土) 集合時間 a m 9:30 (解散時刻12:00)

集合場所 J R 吹田駅中央改札(2F)

- ・事前申し込みはいりません。(当日、直接集合場所にいらしてください)
- ・時間厳守で出発します。
- ・暑い折りです。日射対策、水筒など各自でご準備をお願いします。
- ・小雨の場合は行います。(判断が難しい時は、担当者までご連絡ください)

お願い

大木と歴史を訪ねる散策は今年3月で終わりました。参加者に配布した資料の一部を失っています。次のコースの資料をお持ちの方は事務局まで連絡をいただけませんか。

北千里みち 山田みち 千里緑地みち 岸部みち

あーやとママのすいたの自然で遊んじゃおう！

木田祐子（千里丘上）

はじめまして、会報誌ご覧の皆様。私は吹田に住んで7年目、自然の中で子育てすることに憧れている新米母親です。すいた市民環境会議のおかげで、子供と一緒に楽しめる自然が吹田にもいっぱいあることを教えてもらいました。自然探索はド素人の私と娘（4才）ですが、すいたの自然で遊んだ様子を紹介していきたいと思います。

★はじめてホタルを見たよ編

マ マ「ホタルって知ってる？」

あーや「うん、おしりが光ってるねん。ピカピカって。」

マ マ「へー、よく知ってるやん。見たことあるん？」

あーや「うん、えほん（絵本）で」



……うーん、これはいけない。やっぱり本物を見せなあかん、ということでお友達を誘ってヒメボタルの観測（というより見学）に参加しました。子供が騒いで迷惑をかけるのではと心配しつつ、先生（横須賀市自然人文博物館の大場先生）の講演にも参加しました。「ヒメボタルは森の番人、森の豊かさを表している」「森をよーく見る。一番星ならぬ一番ボタルを見つけた記憶は一生覚えているもの、感動を親子で共有しよう」など、とってもいい話を聴かせていただきました。

引き続きホタルを見るために遊歩道をそぞろ歩き。迷子になりそうなほど大勢の人にびっくり。昔はホタルなんてどこにでもいただろうに今は行列してまで見に来るなんて昔の人には想像つかないことだろうね。そのうち「セミ見学会とか始まったりして！」なんて冗談を言っているうちに、

「あっ、光ってる！」「光ってる！！」子供はそっちのけで親の方が興奮気味！よく考えると、ホタルが光りながら飛んでいる姿というのは私の記憶にも少ないのでした。すると、1匹のホタルがピカッピカッと光りながらゆーっくり円を描いて近づいてきます。子供が手を差し出すと、なんと手の平に着地。手の中の光は弱々しい。子供は騒がない。ホタルの光をじーっと見ている、子供も親も。感動の一時。しばらくして飛び立ったホタルはまたピカッと鮮やかに光を放っていました。

……あーや、今日のことずーっと覚えていてね（ママより）

短信

ヒメボタルの冊子完成

6月3日(土) 冊子100部が完成。希望者は事務局に申し込む。



《 吹田市の鳥 NO.15 》

セッカ(雪加) ヒタキ科

平(ヒラ) 軍二・山田西

吹田操車場跡地に住んでいて、出勤途次の岸辺駅構内で電車を待つ間に「ヒッ・ヒッ・ヒッ、チャッ・チャッ・チャッ」という特徴的な鳴き声を楽しめる鳥が今回紹介するセッカである。

セッカは春に南国から日本の低地～山地の草原に渡ってきて、チガヤのような背の低いイネ科植物の茂る所で繁殖し、秋になると南国に帰っていく夏鳥で、大阪近郊では淀川・大和川などの河川敷や、和泉市に広がる信太山草原などで良く観察できるが、吹田市内では操車場跡地が唯一の繁殖場所である。



吹田操車場跡地はこの10年ほど人手が入らなかったこともあって、植生変化の実験場のようになっているが、今は空き地→草原へと変化の真っ最中で、一部に鳥が運んできた種から芽生えたと思われるピラカンサなどの樹木もあるものの大部分は草はらで、チガヤ・メリケンカルカヤなどイネ科植物が広がっている場所がある。

このような草はらに変化した吹田操車場跡地はセッカの子育て適地となり、毎年セッカが渡ってきて歌を歌うようになっている。

セッカは体長12cmと日本にいる鳥の中で最も体の小さいグループに入るが、繁殖期に縄張りを宣言する雄は「ヒッ・ヒッ・ヒッ」と飛び回り、地上に下りるときは「チャッ・チャッ・チャッ」と変化し、鳴声が大きいののでセッカのいることが遠くからでも良くわかる。

セッカは、鳥の中では珍しく一夫多妻の鳥で、

- ①雄はイネ科植物の葉をクモの糸で縫い合わせた巣を雌に見せる。
- ②雌は巣が気に入るとチガヤの穂を敷き詰め巣を完成し卵を産む。
- ③雄は別の巣を作り、他の雌に見せる。

と、1羽の雄は何羽かの雌との間で子どもを作るが、子育ては雌が単独で行っている。

さて、このセッカがすむ吹田操車場跡地は、今開発計画の波にさらされており、どのように利用されかは、50年後、100年後に評価されることとなる、吹田市にとって20世紀最後で最大のテーマである。

吹田操車場跡地にはセッカの他に、ケリ(11号で紹介済)、ヒバリ・コチドリなど草はら特有の鳥の繁殖地となっている。これらの鳥の住処が無くなることと引き替えに開発される吹田操車場跡地利用計画について、私個人としては、人と自然がふれあうことのできる万博公園に匹敵するような緑豊かな自然公園「21世紀の森」を作ること提案していきたい。

(2000.7.20)

2000年度 会費納入者 (敬称略) 4月18日～7月17日

新会員(個人会員)

井上雄介 小儀賀代 赤堀栄子 山岸貞造 山本富雄 石津忠光 桜井稀衣 大谷和子 大江尚子
有澤壽子 塩川哲雄 栗木祐子 鈴木とみ子 福永美代子 鈴木節子 中尾忍 山出光文 小川敏津子
堀節子 田澤修一 成田靖穂 瀬屋好治 仲埜ひろ 間宮恵子 三崎敬二 山下宗一 山副津多子
秋山芳恵 石野潤 播磨真津代

新会員(法人会員)

吹田医師会 懶近畿シビルコンサルタント

継続会員(個人会員)

田中茂樹 大澤浩子 青木潤一 北村正子 奥田倫子 阿部誠行 中土康雄 佐藤和子 南田順子
加藤俊二 有田亮一 清水由紀子 岩溪恭子 中村小夜子 田中脩 田中一子 和田学 池淵佐知子
寺尾恵子 西川整子 橋本徹也 菅原節子 大越好子 榎原貞子 池上慶子 池澤悦子 西尾熟子
伊藤健一 草野弘靖 秋山こずえ 熊野三千代 熊野節子 木村雄次郎 鈴木たつ江 金子誠一
広村知幸 松岡要三 西川哲成 太田英子 西埜弥生 筆前祐子 阪上靖子 宇都宮正則 古賀康之
香月利明 山根孝 西川たけお 吉村哲彦 船瀬敬子 市川貴美代 栗本修滋 邑本恵子 梅田茂
沖原満生 平軍二 村住和子 越智清光 瀬川勝 瀬川和子 木田祐子 池田薫 藤村修 二上正子
足立ちずこ 竹下郁子 山田千穂子 後藤寿満子 平沢綾子 水川晶子 櫻井あかね 柴田恵
種本悦士

継続会員(法人会員)

小儀動物病院

会費の納入をお願い

2000年度会費(個人会員1000円、
法人会員10000円)を未納の方は8月
31日までに郵便局からお振込みく
ださい。(封筒の宛名の下段に納入済
みの年度が記載されています。振込
先は00980-3-28845 す
いた市民環境会議)

8月31日までにお振込みのない場
合は、会報誌その他のお知らせの送
付はできませんので、よろしくお振
込みくださいますようお願いいたし
ます。

投稿、投書、会報誌への
感想をお寄せください

編集後記

前号までは秋山さんの編集で隔月発行だっ
たが、息をつく間がないので、向こう1年間
は4回の発行にした。

原稿集め、校正、印刷、製本、送付の作業
は全員で手分けして、予定どおりの発行に漕
ぎつけたようだ。しかし、仕上がりが固い印
象になった。ワープロの機能をもっと使いこ
なせば……、次号は少しは改良できるかな。

20日が原稿の締切り、印刷前の完成が28日。
新米の編集長に暑さがきつい。クーラーな
しで扇風機にあたりながら、エコ・編集の10
日間だった。(古谷)